

第1回施設管理研修会 (今必要な法律改正への対応! ~蛍光灯の2027年問題、水道料金の高騰への対応~)

- 日時 令和7年7月11日(金) 13:30~16:00
- 出席者 19病院24名、委員13名
- 開催方法 Web開催

施設管理に関するアンケート結果報告

会員病院あてに実施した施設管理に関するアンケートの結果報告が、河田施設管理委員長からあった。電気、水道等の使用状況・コストをもとに病床数・延床面積で計数化したもので、現在の物価上昇、エネルギー価格の高騰、病院を取り巻く厳しい環境の中で、自院のベンチマークの一助として活用してもらいたいとの説明であった。

講演I 蛍光灯2027年問題。LED照明の市場動向・補助金のリースについて

講師 三菱電機フィナンシャルソリューションズ(株)

中国支店 営業課 石本康剛 課長

中四国支社 開発営業部 中国開発営業二課(岡山) 多久和翔太 係長



2027年末までに蛍光ランプの製造・輸出入が禁止となり、今後ランプ入手が難しくなるため、早期のLEDへの更新がお勧めである。今後、LED更新の需要集中が予想され、必要時にLEDの供給ができない可能性や、人手不足による設備更新費の高止まりなど、コスト増が予想される。ただ、エネルギー資源の高騰・電気料金上昇に伴い、省エネの重要性が高まってきており、特にLED化実施率の低い医療・

福祉分野ではLEDに交換することで、電力量削減効果がおおいに期待される。LEDの更新については、インシヤルコストは高額ではあるが、交換頻度・電気料金の削減により短期間で回収することが可能である。また、補助金やリースを活用する方法もあるので計画的に実施していく必要があるとの説明があった。

講演II R32フロンへの変更に伴う、今後の空調設備工事について

講師 一般社団法人岡山県冷凍空調協会 関 光靖 理事

2025年から、冷媒ガスが、現状よりも地球温暖化係数の低いR32(現R410A)に変更になった。R32の空調機を新設する場合、現状の設備を増設する必要があり、工事費などのインシヤルコストはかなり増額する。このため、現状使

用している空調機が古い場合は、旧冷媒ガス(R410A)で販売が可能な2027年度までに更新を検討した方がコスト削減につながるとの紹介があった。

講演III 医療現場に迫る“水の危機”:水道料金値上げと災害対応にどう向き合うか

講師 アクアテクシステム(株) 関西支店 矢野慎也 支店長代理

全国的な水道料金の値上げ、災害や水道管の老朽化による断水、また病院における水の重要性の観点から、井戸や工業用水などを高度浄化し、上水道に代わって水を供給することを可能とする自家水道システムの紹介があった。導入メリットとして、水道料金の削減、BCP対策(上水との水源の二重化)、地下資源の有効活用などがあげられる。また、水質と水量の安定化を求めて、深井戸を掘削するが、掘

削して水脈に当たらなかった場合、費用は一切請求されない。デメリットとしては、処理装置などの設置場所(30~50㎡ほど)の無償貸与、契約期間(一般的に10~15年)の縛りがある。近県では兵庫県、広島県で導入実績があり、システム導入後、年間水道料金の削減がみられているとの説明があった。

(施設管理委員 奥村裕一郎)